

## 山間部ループ道路を軽量盛土で支持 EDO-eps工法

昨年9月、千葉県鴨川市に県内初となるループ橋が完成。県道市原天津小湊線（延長36km）の一部となるこのループ橋の整備は、地域が長年待ち望んでいたものでした。

同道は房総半島の内陸部と太平洋岸を結ぶ重要な幹線道路ですが、すれ違いが困難な道幅や非常にタイトなヘアピンカーブの区間が存在し、更に急峻な地形から豪雨等による崖地の崩落が度々発生していました。

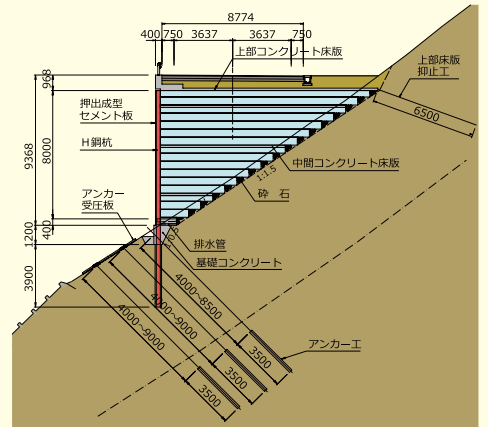
そこで県では1991年度から特に狭い区間の改良に着手し、ようやくの開通となったものです。沿道は清澄山や養老溪谷に代表される豊かな自然に恵まれ観光道路としての機能も有しているため、初めて訪れるような人でも利用しやすい道路へと変身しました。

「清澄山道ループ橋」と名付けられたこの橋は、20m以上ある高低差を



地形的な制約を受けずに余裕ある道路半径で解消する方策として採用されており（橋部分での高低差も約8m）、斜面から道路を離すことで土砂崩れの影響が受けにくくなるといった副次的なメリットも備えています。

岡三リビックはこの工事において、地山から橋へと接続する部分の盛土が急峻な山間部であることを考慮し、拡幅した道路による荷重を低減するEDO-eps工法の材料を納入、またグループ会社の岡三工事が施工を下請けにて担当しました。



### 工事概要

施主：千葉県県土整備部  
安房土木事務所鴨川出張所  
工事名：令和元年度社会資本整備  
総合交付金・県単道路改良(幹線)  
合併工事(坂本・擁壁工)  
施工：青木総業株式会社  
商品：EDO-eps工法 2,118m<sup>3</sup>

## お国自慢

白旗神社

創環部 安田晴彦

神奈川県藤沢市には、人気の観光地・江の島や鎌倉に向かう「江ノ島電鉄」の始発駅がありいつも観光客で賑わっているのですが、それらの観光地とは逆に内陸側ニキロほどにある「白旗神社」をご紹介します。

白旗神社は全国、特に東日本に多く点在しています。白旗とは源平合戦における源氏の旗の色で、藤沢の白旗神社には源義経が祀られています。

伝承では奥州平泉の衣川館で自害した源義経の首は、鎌倉の腰越まで運ばれ首実検され、そののち捨てられた首が川を遡っていま神社が立つその地に漂着したといわれています。白旗神社のすぐ近くには、義経の首洗井戸と、弁慶の首が祀られている八王子社もあります。

例年、五月五日には、地域の子供たちの成長を願い境内に鯉のぼりを掲げて「牛若まつり」が開催されています。また、五月初旬の境内には薄紫の弁慶藤と白の義経藤が満開になります。藤沢の地名に由来する「藤」は市花として人々に親しまれています。

私が白旗神社を訪れたとき、義経と弁慶が描かれている紫色のご朱印帳があまりにかっこよく、初めてご朱印帳を買い求めました。コロナウイルスが落ち着いたら、少しずつご朱印を増やしていきたいと思っています。



おかげさまで創業50周年

### 取扱商品

道路・盛土 多数アンカー式補強土壁工法 トリグリッドEX パラリンク フラットパネル RRR工法 EDO-eps工法  
ダイブハウエル管 法面・防災 多機能フィルター ミニアンカーDO PDR工法 サビレス100  
維持・管理 ARISライナー工法 SWライナー工法 RCGインナーシール工法 Tn-p工法 ローマットHDB  
鉄鋼建材 ライナープレート コルゲートパイプ 景観・環境 ロッキーステージ 斜面いどり工法 フォトリックアート



## 木登り熊を見せる立体空間

## 沖縄こどもの国 動物園

「沖縄こどもの国」は、沖縄県内で唯一の動物園や「ワンダーミュージアム」「ふるさと園」などで構成される複合施設。2020年には開園50周年の節目も迎え、施設では、県外からの誘客も見据えた独自性と魅力を備えたりリニューアル工事を進めることとなりました。

そうした計画の一端である動物園拡張の目玉のひとつが、キツネやタヌキ、クマなど子供たちになじみのある動物を中心に展示する新エリア「里山の迷宮」です。こどもの国の高低差のある地形を活かして里山を表現した作りとなっており、空間を立体的に巡りながら動物たちを見ることが出来ます。

岡三リビングのグループ会社・沖縄リビングはこのエリアにおいてク

マの展示空間を担当。展示するマレーグマやニホンキノワグマは木登りが得意なことから、その生態を効果的に見せるため放飼場の中央に擬木を用いた熊棚風アスレチック遊具や造形物を配置するなど上下方向の移動に工夫を凝らしています。立体的な

園路により観覧者へは木の上のクマを間近に見るビュースポットも用意されています。

マレーグマもニホンツキノワグマも絶滅が危惧されている動物であり、これら飼育する国内各動物園は生育環境に配慮し種の存続を見据えた園づくりが求められています。

岡三リビングは国内の多くの動物園・水族館で野生での生息環境をイメージした行動展示型施設の施工実績で各園のリニューアル計画をサポート。得た知見を磨きながら更に良い展示の形を模索しています。

擬木と岩場が高低差を結ぶニホンツキノワグマ展示



マレーグマのメス「マーズ」



擬木の熊棚を置いたマレーグマ展示



### 工事概要

- 発注者 : 沖縄市企画部  
プロジェクト推進室
- 工事名 : 沖縄こどもの国クマ舎周辺  
エリア整備工事(第1期)
- 施工業者 : 株式会社基土木
- 施工規模 : クマ舎(熊棚含む) 一式

ここを元年とすると、ナイル川やインダス川の文明が芽生えたのが七千年頃。中国最初の王朝「殷」が八千四百年頃、古代ローマが九千二百年頃、日本で言うなら縄文時代が紀元前三千年頃、九千年頃となる。こう数えると、人類がどれほどの時間をかけて世界を積み上げてきたかという地続き感がより強く伝わってくるのではないかと思います。

なぜ一万二千年前からかというところ、人類史上初の大規模建造物とされるトルコの「ギョベクリ・テペ遺跡」がこの頃のものだからだ。高さ六メートルの石柱などを含めかなり計画的に造られており、人類史の始点に相応しい。また地質学的にもちようど氷河期以降の現代「完新世」の始まりに相当し、ひとつの時代区分になっている。

日本は令和という国独自の元号を採用する一方、西暦を併用して世界とのギャップを埋めている。しかし西暦はキリスト教以外の宗教からは一部反感もあるうえ、実はキリストの生誕は紀元前四年頃であるらしく、その根幹がゆらいでいる。また紀元ゼロ年を考慮するかどうか学問により違いがあるなどで年数算出での不便もあるという。そこで提唱されているのが、使い慣れた西暦に一万年を足す「人類紀元」という考え方だ。

### 人類紀元元年

## 徒然月記

記：編集 T

日本の土台を新しく。

東京都港区港南1-8-27 日新ビル ☎03-5782-9080

札幌・盛岡・仙台・高崎・東京・新潟・金沢・長野・静岡  
名古屋・大阪・米子・広島・高松・松山・福岡・鹿児島  
沖縄リビング・岡三リビングベトナム



# 岡三リビング株式会社